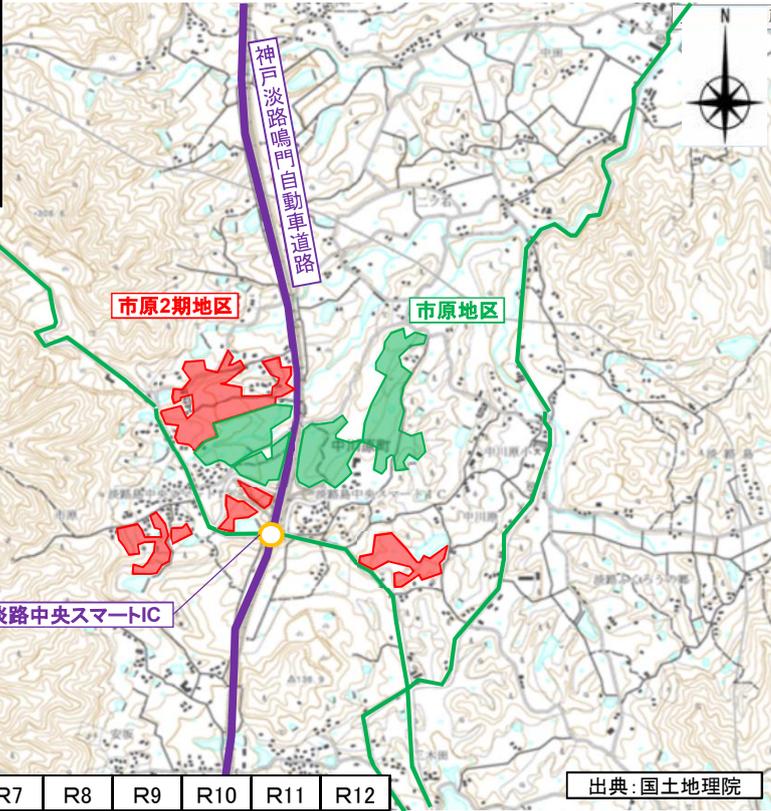


いちばら
ほ場整備事業 市原2期地区 位置図



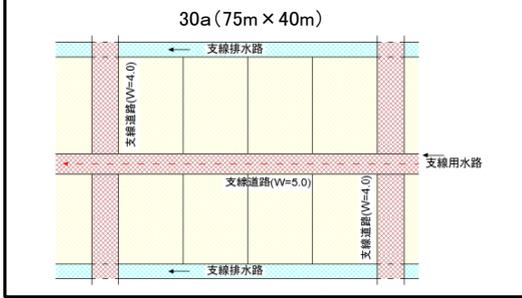
目的

当地区は、洲本市中心部の北西約5km、神戸淡路鳴門自動車道路淡路島中央スマートIC周辺の農地18.6haである。当地区は不整形かつ急勾配で耕作放棄地も広がりつつある。このため、ほ場整備を実施し耕作放棄の防止を図るとともに、既存営農組合へ集積を図り、農業経営の安定と改善を図る。

事業概要

事業概要: 区画整理 15.4ha(関係戸数42戸)
所在地: 洲本市中川原町市原
事業期間: R6~R12
総事業費: 7.5億円
事業主体: 兵庫県
費用便益費: 1.33

標準区画割図



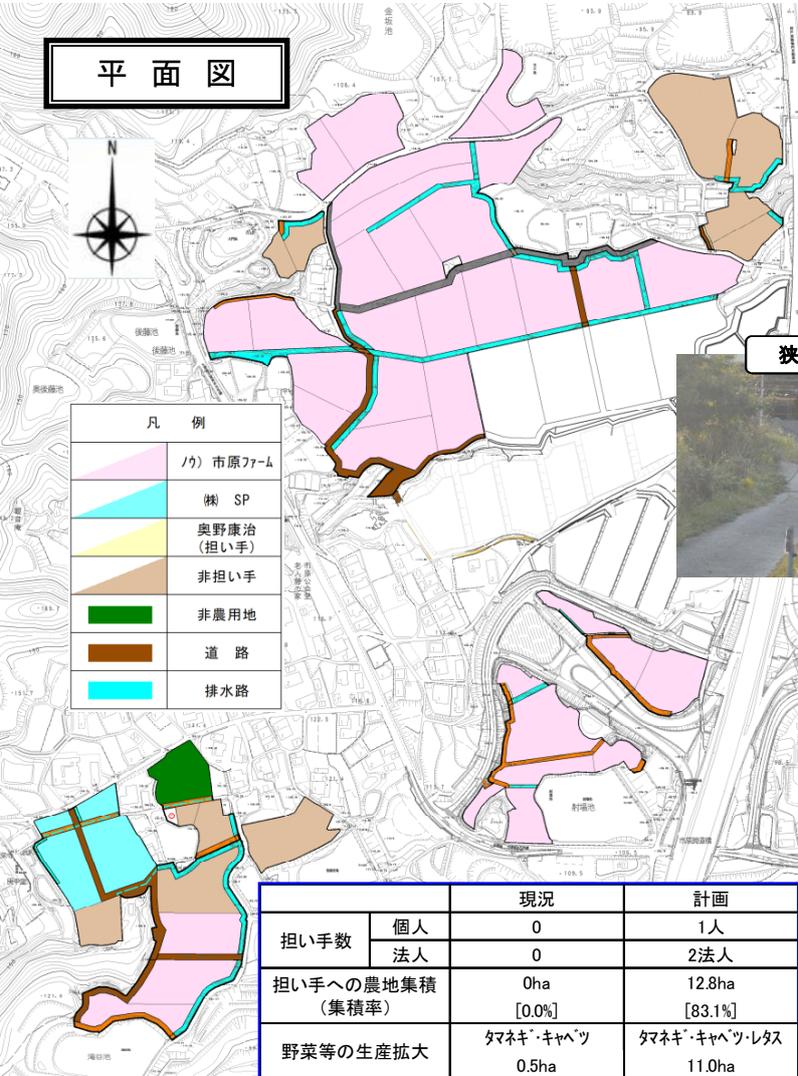
- 凡例
- 事業区域
 - 高速道路
 - 国道
 - 県道
 - 公共施設等

工程表

工種	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
実施設計	■	■					
区画整理工			■	■	■	■	■
その他(換地)	■	■	■	■	■	■	■

出典: 国土地理院

平面図



【事業の必要性等】
本地区では、耕作条件が非常に悪く、耕作放棄も生じつつあり、耕作者も減少・高齢化して農業の継続に危機感がある。
地域において営農組合を設立し、特産の玉葱、レタス等野菜の作付けを増大し、消費者と直結した商事会社へも出荷するなど、農業の継続と安定・拡大を目指すことにしたため、ほ場整備の実施が有効かつ必要である。



担い手数	現況		計画	
	個人	法人	個人	法人
担い手への農地集積(集積率)	0	0	1人	2法人
野菜等の生産拡大	0ha	0.5ha	12.8ha	11.0ha
	[0.0%]	タマネギ・キャベツ	[83.1%]	タマネギ・キャベツ・レタス

出典: 水士情報システム